

神戸市におけるスマートフォン等を活用した主な取り組み事例 (観光・商業振興関係を抜粋)

公式観光サイト Feel KOBE

【掲載情報】

- ・グルメ(飲食店)、ショッピング(商業施設)、観光施設、宿泊施設の情報
- ・イベント情報
- ・観光モデルコース
- ・観光・交通の割引情報 等

【閲覧件数】 36,071 件 / 1日あたり (日・英・韓・繁体・簡体の合計)

※平成 28 年 4~10 月のデータを基に算出

公式観光アプリ KOBE Official Travel Guide

【機能】

- ・KOBE Free Wi-Fi スポット、駅、観光施設、免税店、案内所などの情報を地図上に表示し、ナビゲーション機能 (多言語対応)
- ・観光施設の割引・特典を発信
- ・バスの走行位置と車内の混雑状況をバス利用者に提供 (シティー・ループ対象)

【配信開始】 平成 27 年 3 月 31 日 【ダウンロード数】 33,000 件(平成 28 年 10 月時点)

「data.KOBE」×NTTドコモ アプリコンテスト

【内容】

- ・「観光」をテーマに、神戸市のオープンデータを活用し、観光課題解決の一助となるアイデアやアプリを作成するコンテストを実施。

【実績】 27 件の応募 (アプリ部門 14 件「トイレの神様 in 神戸 等」、アイデア部門 13 件「KOBE EVENT NETWORK 等」)

<地域における取り組み>

モバイルスタンプラリー

岡本商店街：商店街の活性化を目的に、沢山のアイドルファンと商店街を繋げるため、神戸のアイドル KOBerrieS 等と協力したスタンプラリーを実施。スタンプを集めた人には景品を提供。

デジタルクーポン

垂水商店街：商店街への誘客を目的に、スマホでデジタルクーポンを発行。発行店舗に対して期限切れ間近をお知らせする機能も。